

令和 8 年 2 月 9 日

「物流業界における障がい者活躍推進に向けた検討」報告書の発行について

(一社)日本物流団体連合会(略称:物流連)は、経営効率化委員会のもとに令和6年9月に設置された「障がい者活躍推進ワーキングチーム(座長:東京女子大学 二村真理子教授)」において、約1年間にわたって実施してきた調査検討の結果を、令和7年12月に掲題の報告書としてとりまとめましたので公表いたします。

また、物流業界において今後のさらなる障がい者活躍推進のために本書を活用していただけるよう、一般販売も開始いたしました。

(物流連ホームページにて以下の URL よりご購入申し込みを受付けております)

ご購入申し込み用 URL : <https://www.butsuryu.or.jp/data/books/detail/handicapped202512>

当ワーキングチームは、物流業界の人材不足等の課題解決へ向けたダイバーシティ推進の一環として、また企業の社会的責任(CSR)を果たすうえでも今後障がい者の活躍推進がますます望まれることから、物流業界における障がい者雇用の現状と課題を調査し、その活躍推進について検討する目的で設置され、物流連会員企業・団体 15 社から 16 名の方が参加し、調査検討を行ってまいりました。

本書は、物流連会員に対して実施した各種のアンケート調査やヒアリング調査を通じて明らかになった会員各社のさまざまな課題、あるいは先進的な取り組みの事例等を取り上げています。また、独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構(JEED)による講演会において紹介された他業界での好事例なども含まれており、今後さらなる障がい者活躍推進を図っていかれる皆様にとって参考となるよう考慮しましたので、ダイバーシティ経営を推進される経営者の方々にも是非ご一読いただければ幸いです。

物流連では今後もさまざまな活動を通じ、ダイバーシティや CSR 推進の取り組みを進めてまいります。

以 上
事務局 中野